

~ 商 品 内 容 ~



番号	商品内容	数量
(1)	コンビネーションスイッチカバー	1
2	5.5 LCD スピードメーター	1
3	5.5 LCD タコメーター	1
(4)	サブコード(黒)	1
(5)	サブコード(緑)	1
(6)	ソケットキャップスクリュー 6 x 6.0	2
(7)	フランジナット 6 mm	2
(8)	タッピングスクリュー 4 x 1.2	2
9	温度センサー	1
10	2Pスピードメーターコード	1
11	3Pタコメーターコード	1
12	ピックアップコード(イグニッションコイル用)	1
13	ピックアップコード(ハイテンションコード用)	1
14	熱収縮チューブ	1
(15)	メーターステ	1
(16)	プレーンワッシャ 5 x 1.8	8
17	カラー	4
18	クッションラバー	4
19	フランジ六角ナット 5 mm	4
(20)	インシュロックタイ	2
(21)	エレクトロタップ	1
(22)	LEDニュートラルインジケーターステップランプ	1
(23)	LEDターンインジケーターステップランプ	1
24	スピードメーターケーブルASSY. 670mm	1

() の番号はメーターステ - セットの内容を示します。

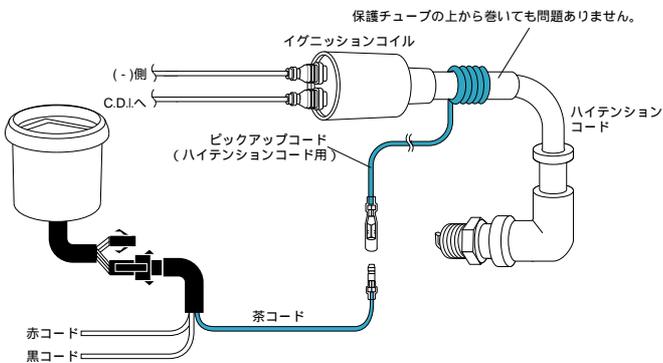
~ 取 り 付 け 要 領 ~

- メーターステにクッションラバー 4 個を取り付け、カラーをクッションラバーにそれぞれ差し込みます。
- タコメーターのネジ部にプレーンワッシャ 5 x 1.8 を入れメーターステ右側にタコメーターを取り付けます。クッションラバー裏側よりプレーンワッシャ 5 x 1.8 を入れ、フランジ六角ナットを取り付け、指定トルクで締め付けます。
トルク：5 N・m (0.5 kgf・m)
- スピードメーターネジ部にプレーンワッシャ 5 x 1.8 を入れメーターステにスピードメーターを取り付けます。クッションラバー裏側よりタコメーター同様にプレーンワッシャを入れフランジ六角ナットを取り付け、指定トルクで締め付けます。
トルク：5 N・m (0.5 kgf・m)
- メーターステにニュートラルインジケーターステップランプ、ターンインジケーターステップランプをそれぞれ取り付け、締め付けます。締めすぎに注意して下さい。
- コンビネーションスイッチカバーの切り欠き部が右斜め下になる様タッピングスクリューでカバーを取り付けます。ノーマルライトケースよりコンビネーションスイッチを取り外し、ロックの爪が掛かるまでスイッチをスイッチカバーに差し込みます。ライトケースよりコンビネーションスイッチを取り外す場合、細目のドライバー等で 2 箇所のロックの爪を内側に押しながらスイッチを抜き取って下さい。
- ハンドルホルダー前側 2 本のソケットキャップスクリューを外します。付属のソケットキャップスクリューに交換し、指定トルクで締め付けます。
トルク：1.2 N・m (1.2 kgf・m)
トップブリッジ裏面の交換したキャップスクリュー部分にメーターステを入れ、フランジナットを取り付け指定トルクで締め付けます。
トルク：1.2 N・m (1.2 kgf・m)
(メーターとヘッドライトが干渉したり、クリアランスが少ない場合は、ヘッドライトステで高さ調節を行って下さい。)
- スピードメーター、タコメーター、ターンインジケーターステップランプのそれぞれの黒コードをサブコード(緑)に接続します。サブコード(緑)をヘッドライトケース内のワイヤーハーネス緑コードに接続します。
- スピードメーター、タコメーターのそれぞれの赤コードをサブコード(黒)に接続します。サブコード(黒)をヘッドライトケース内のワイヤーハーネス黒コードに接続します。
- タコメーターの茶コードにピックアップコード(イグニッションコイル用)を接続し、イグニッションコイルまで取り回します。イグニッションコイルの黒/黄コードを外し、ピックアップコードをそれぞれ接続します。
- ターンインジケーターステップランプの黒コードをヘッドライトケース内のワイヤーハーネス灰コードにエレクトロタップを用いて接続します。赤コードをサブコード黒に接続します。エレクトロタップは 6 P カプラーのメインハーネス側に接続して下さい。

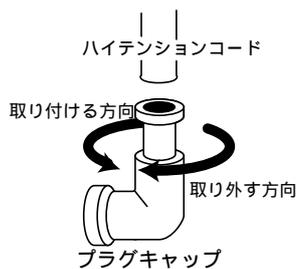
- 1 1 . ニュートラルインジケータランプの黒コードをヘッドライトケース内のワイヤーハーネスの若葉 / 赤コードに接続します。ニュートラルインジケータランプの赤コードをワイヤーハーネス黒コードに接続します。
- 1 2 . 温度センサーを使用する場合、オールドレンボルトアダプター (0 7 - 0 4 - 0 5 4) かオイルクーラーホース (内径 8 mm) 用アダプター (0 7 - 0 4 - 0 5 2 1) が別途必要になります。
温度センサーのスティック部分を所定の場所に取り付け、LCD タコメーターの 2 P カプラまで取り回し、接続します。たるんだ線は運転に支障がないようにインシュロックタイを用いて固定します。
- 1 3 . スピードメーターケーブルを接続しヘッドライトユニットを取り付け、エンジンを始動し各ランプの点灯状態とタコメーターの作動確認を行ってください。タコメーターの作動に問題がある場合は、『タコメーターの作動が安定しない場合』に進んで下さい。問題が無ければ安全な場所で低速走行を行い、スピードメーターの作動を確認して下さい。

タコメーターの作動が安定しない場合

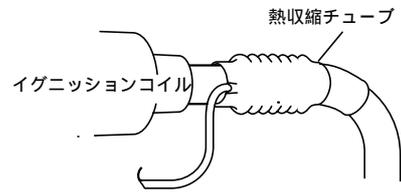
- 1 . 項目 9 でイグニッションコイルに接続したピックアップコード (イグニッションコイル用) を外し、黒 / 黄コードをイグニッションコイルに接続して下さい。
- 2 . ピックアップコード (ハイテンションコード用) をハイテンションコードのイグニッションコイルに近い位置で約 5 周巻きつけ、絶縁テープ等で緩まないように仮止めをして下さい。



- 3 . ハイテンションコードからプラグキャップを外して下さい。



- 4 . 絶縁テープで仮止めした部分に熱収縮チューブを被せるように通しドライヤー等でチューブを熱し、収縮させて下さい。チューブの収縮温度は約 9 0 以上で、約 5 0 % の内径まで収縮します。
警告：タンクにはガソリンがあり、大変危険ですので、ライター等の火を使用し直接チューブを収縮させる事は絶対に止めて下さい。



- 5 . プラグキャップをハイテンションコードにしっかりと取り付けて下さい。

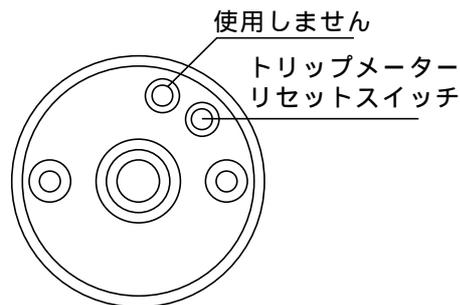
各部の名称と操作方法



スピードメーター
速度表示 (Km / h)

オドメーター
距離表示 (Km)

トリップメーター
距離表示 (Km)



[トリップメーターリセットスイッチ] を押すと、トリップメーターの走行距離が「0」に戻ります。オドメーターをリセットすることは出来ません。

例) 画面はスピードメーター時速 46 Km、オドメーター 326 Km、トリップメーター 326.4 Km、

ご注意ください

液晶の性質として、長時間、直射日光を受け続けると痛みが発生してしまいます。

なるべく液晶部分に夏場に長時間、直射日光が当たらないよう気を付けて下さい。万が一、黒くなってしまった場合は、メーター本体を直射日光から避け、冷やしてください。しばらくすると正常に戻りますが、真夏などの強い直射日光下で長時間放置した場合はシミのような後遺症が残るなどの支障が生じる可能性がありますので、特にお気を付けてください。

本製品は完全防水ではありません。

湿度の高い状態に置きますと本体内に湿気が浸入し画面がくもってしまう可能性があります。

バッテリー、プラグ、配線の状態（取り回しや、接続状況）によってはメーター数値表示の乱れなど、不具合が生じる可能性があります。バッテリー状態の悪い車両やバッテリーレス車両ではメーター電源電圧が安定しておりません。そのためエンジン始動時などに、一瞬数値表示に乱れを生じることがありますが故障ではありません。またメーター電源電圧の変化が大きい車両や点火系ノイズの激しい車両では、メーター内部の電気信号が乱れ、間違った情報を表示してしまう可能性があります。

装着時は各部（特に配線、点火系、バッテリー）の点検をしっかりと行い、装着後も必ず定期的に点検をしてください。

バッテリー - 付き車両ご使用に関する注意点 モンキー、ゴリラ

STDメーターの照明用の茶コードへのプラスコード接続は絶対に行わないで下さい。

LCDメーターの電源用コードの色はプラス側が赤コード、マイナス側が黒コードです。

茶コードはエンジン回転数により周波数、最大電圧の変わる交流電源です。

LCDメーターに使用すると、LED夜間照明のショートや誤作動など、メーターとしての機能に支障をきたす恐れがありますので絶対に接続しないで下さい。

正しい配線ではメインキーONでメーターの電源が入ります。

エンジン始動に伴い、メーター電源が入る場合は配線が間違っています。

正しい配線でも充電能力の無くなったバッテリーを使用しますと、過電圧になりLED夜間照明がショートし点灯しなくなるなどの恐れがあります。（LED夜間照明修理不可能）定期的にバッテリー点検をして下さい。